

# 日本海地震・津波プロジェクト

## 沖合構造調査

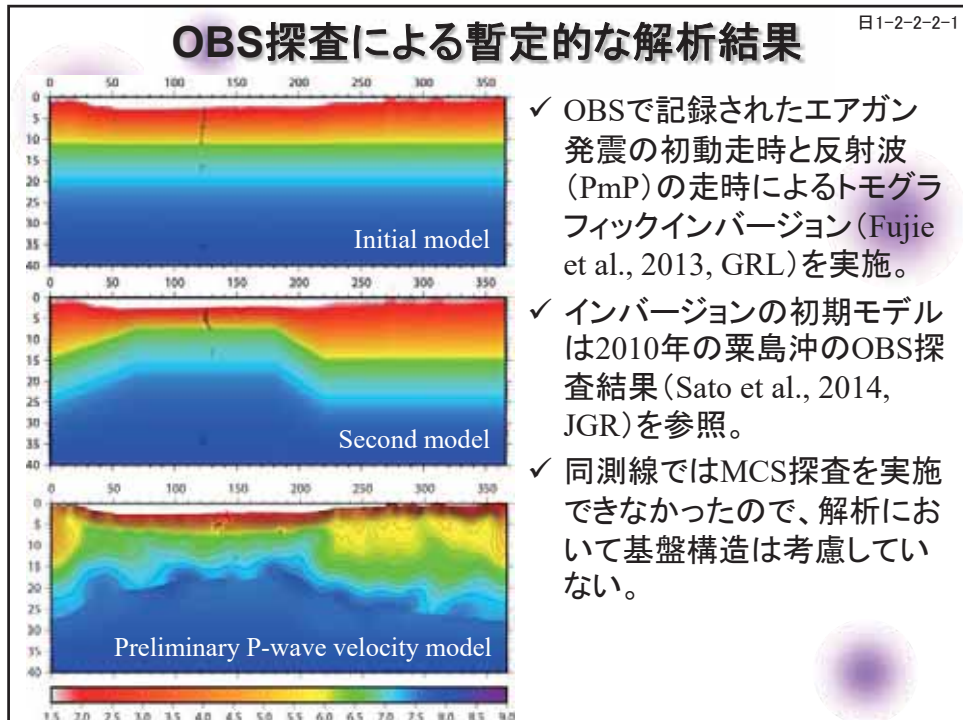
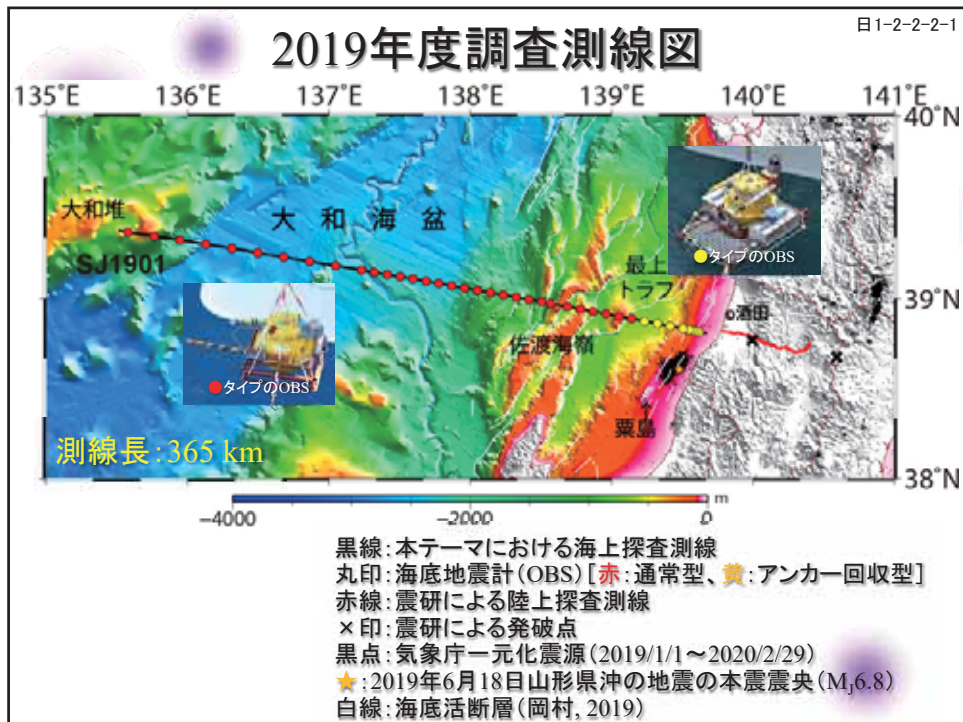
国立研究開発法人

海洋研究開発機構



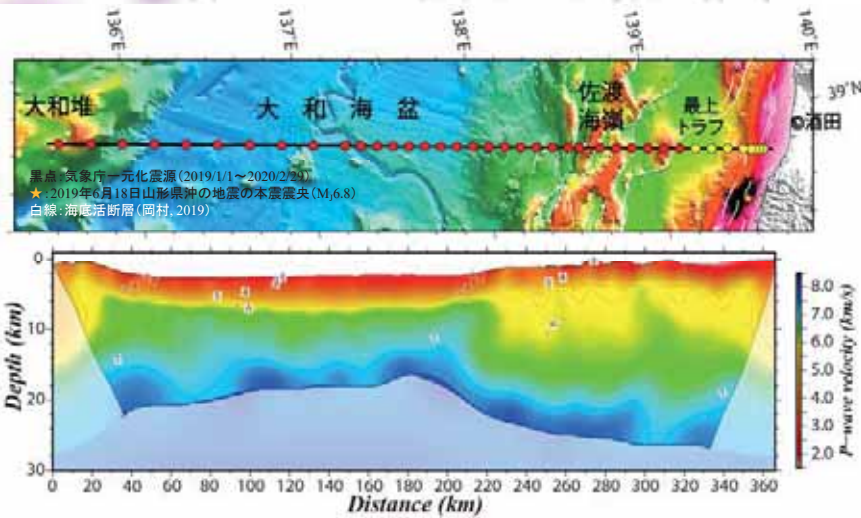
### 沖合構造調査(線表)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
① 歴史地震・古津波調査		新潟・上越地域	山陰・九州			東北・北海道		総合解析
② 海域構造調査								
(1) 沖合反射法地震探査	北陸沖海域 北陸沖海域 北陸沖海域	北陸沖海域	北陸沖海域	北陸沖海域	北陸沖海域	北陸沖海域	北陸沖海域	総合解析
(2) 海域プレート構造調査	大和海峡の構造調査(近海arc02)					日本海沿岸構造調査(近海arc03)		総合解析
③ 沿岸海域および海陸統合構造調査	北陸沖沿岸調査 富山・上77断層 陸沖・島 島沖	山陰・九州沖沿岸調査 若狭沖 島根沖				北海道沖・北東北沖沿岸調査 札幌沖 下北沖 道南沖		総合解析
④ 陸域活構造調査	北陸地域	山陰・九州北部地域			北海道		東北地域	総合解析
⑤ 津波波源モデル・震源断層モデルの構築								
(1) 断層モデルの構築	初期断層モデルの構築	北陸地域	西日本沖日本海と沿岸			北海道東部・北部		総合モデルの構築
(2) 沿岸域の地震活動の把握			度次更新					
(3) 構成岩石モデルの構築	地震発生層の初期推定	天然資料と供給体の高温・高圧弾性波測定と高温変形試験モデルの度次更新						
⑥ 海溝型地震と内陸沿岸地震の関連メカニズムの評価準備								
								まとめ



## OBS探査による暫定的な解析結果

日1-2-2-2-1

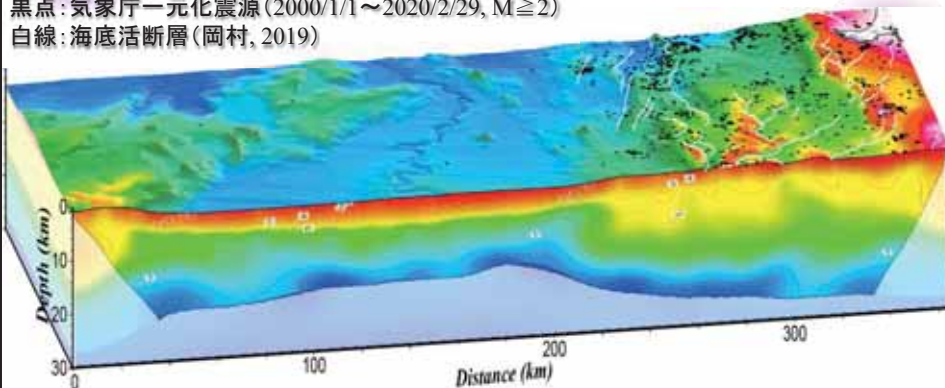


- ✓ まだ確定的な結果ではないが、地殻の厚さ(堆積層を含む)は大和海盆で14～18 km、佐渡海嶺～最上トラフで23～26 km。
- ✓ 定性的ではあるが、上部地殻(6.6 km/s以下)に相当する部分が佐渡海嶺から陸側と大和堆が大和海盆と比較して相対的に厚くなっている。

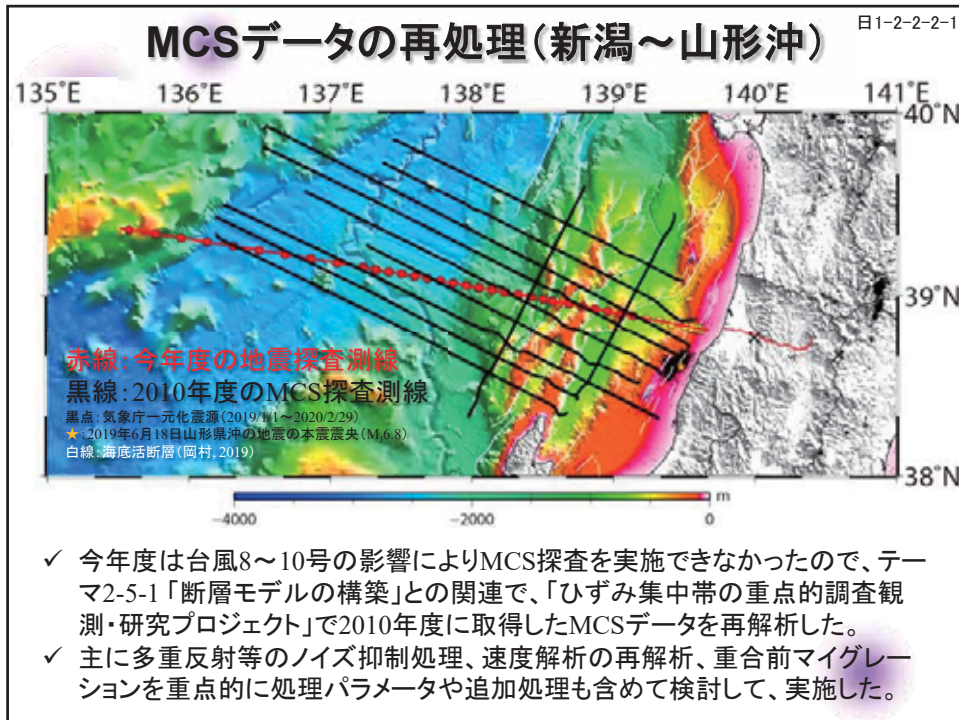
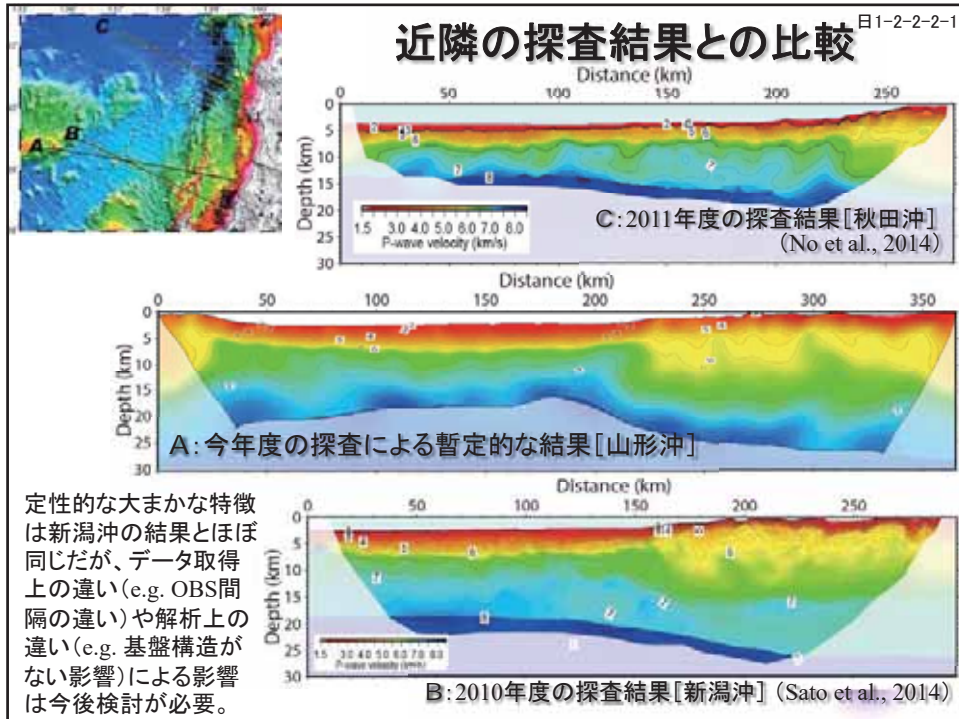
## OBS探査による暫定的な解析結果

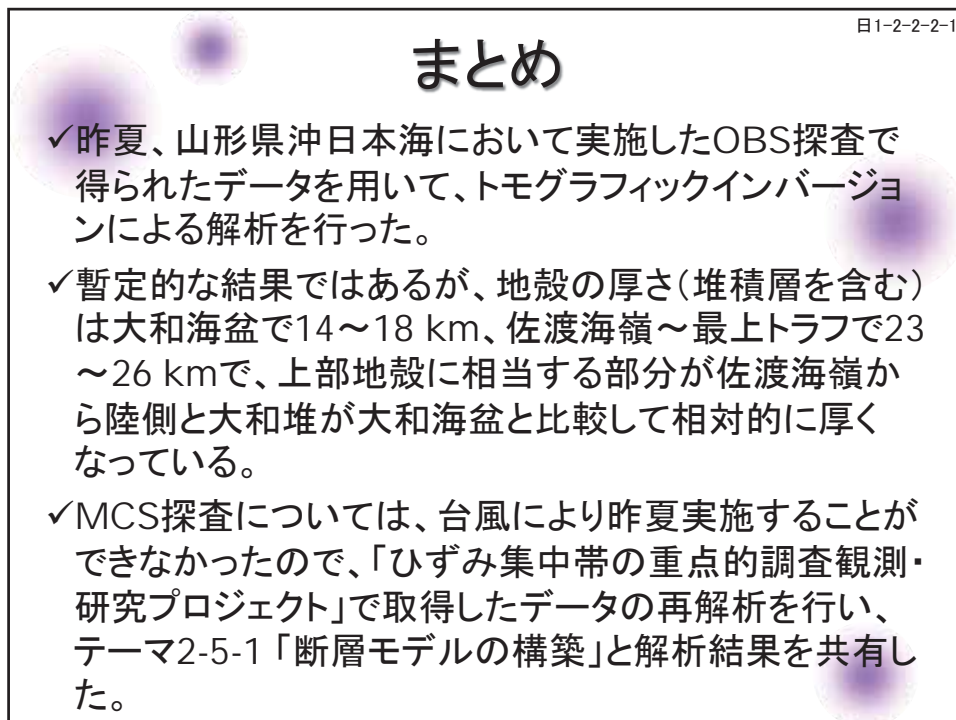
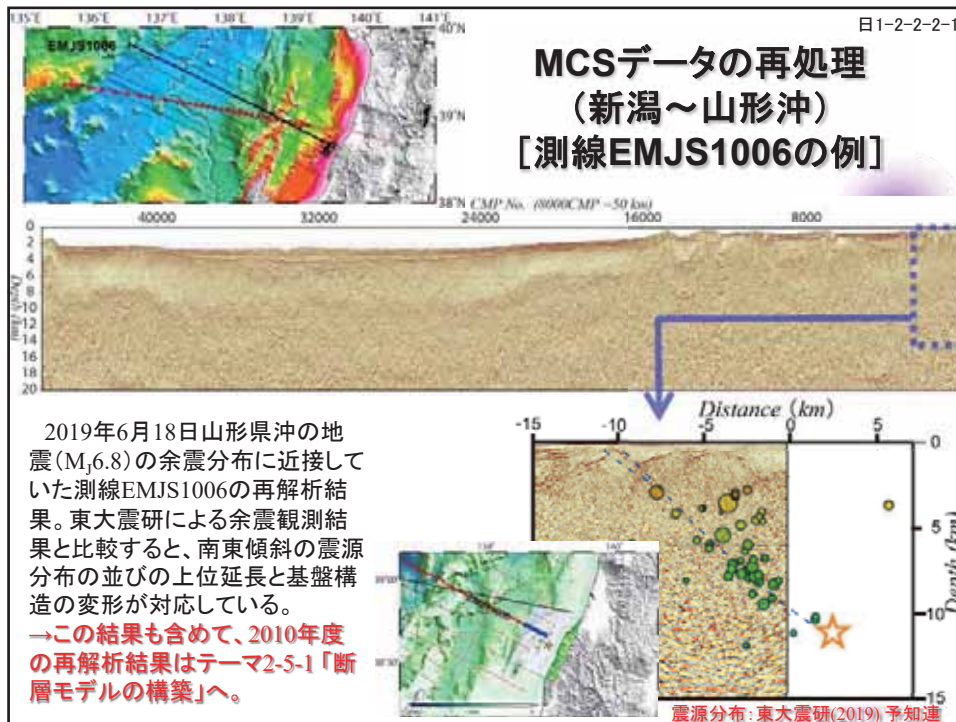
日1-2-2-2-1

黒点: 気象庁一元化震源(2000/1/1～2020/2/29,  $M \geq 2$ )  
 白線: 海底活断層(岡村, 2019)



- ✓ 地震活動や海底活断層が分布している領域は、地殻が厚くなっている場所と対応している。





日1-2-2-2-1

## プロジェクト最終年度へ向けて

- 「2-5-1 断層モデルの構築」への貢献。
- 成果の論文化。
- 日本海南東部の3次元地殻構造モデルの構築。

